

学校臨床心理学特論

選択 2単位

張田 真美

1. 授業の概要(ねらい)

学校はすべての子どもにとって、知識を身につけるだけでなく、社会性を育む大切な場であり、時に福祉的機能も担うことがある。しかし、社会の価値観が多様化した中で、教師は家庭との連携に苦悩することも多いと考えられる。臨床的な視点から教育現場でも必要となり、心理職が学校にチームメンバーに加わってから20年以上が過ぎたが、一人職場であることが多いために、その業務には様々な困難が伴う。この授業では、学校で心理職にはどのような知識が必要であり、いかにして教師とは違った立場で児童・生徒の支援に携わることができるのかについて、理解を深めたい。

2. 授業の到達目標

- 1) 学校心理臨床の基本概念を説明できる
- 2) 学校において生じる様々な心理的課題について説明できる
- 3) 学校コミュニティに対する介入について説明できる
- 4) スクールカウンセラーとしての心構えや求められるスキルを身につける

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表40%、ディスカッション20%、最終レポート40%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

事前に教員から文献を紹介するので、担当者は発表すること。
社会の中で、子どもたちに目を向けてほしい。交通機関、ファミリーレストラン、コンビニエンスストアなどで、積極的に観察してほしい。

6. その他履修上の注意事項

ディスカッションには積極的に発言して欲しい。

この科目は臨床心理学専攻に特化した科目です。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
学校臨床心理学とは何かについて学ぶ
- 【第2回】 スクールカウンセリングの基本的枠組みについて学ぶ
スクールカウンセリングの現状について学ぶ
- 【第3回】 不登校について学ぶ
不登校の支援機関について学ぶ
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第4回】 いじめについて学ぶ
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第5回】 子どもの貧困について学ぶ
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第6回】 児童虐待および不適切な養育について学ぶ
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第7回】 自殺予防について学ぶ
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第8回】 非行、または逸脱行動について学ぶ
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第9回】 小学校におけるスクールカウンセリングについて学ぶ
(発達障害、学級崩壊など)
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第10回】 中学校におけるスクールカウンセリングについて学ぶ
(部活動、中学校卒業後の進路など)
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第11回】 ゲストスピーカーより、高等学校におけるスクールカウンセリングについて学ぶ
(退学、妊娠など)
- 【第12回】 大学における学生相談について学ぶ
(ひきこもり、ネット依存など)
文献担当者による発表と、ディスカッション
- 【第13回】 関係機関との連携について学ぶ
- 【第14回】 ゲストスピーカーより、教師のメンタルヘルスについて学ぶ
- 【第15回】 まとめと展望